

## 平成 30 年度土壌中の放射性物質の測定結果について

### 【土壌中の放射性物質の測定結果】

平成 31 年 3 月 5 日に市内 6 か所の公共施設の土壌を採取し、土壌中の放射性物質の検査を行いました。分析項目は放射性ヨウ素 131、放射性セシウム（放射性セシウム 134 及び放射性セシウム 137 の合計）とし、測定しました。土壌の放射性物質濃度については基準値がありませんが、参考として水田の放射性セシウム濃度の基準値 5000 (Bq/kg)、肥料・土壌改良資材・培土中の放射性セシウム濃度の基準値 400 (Bq/kg) 等と比較しても超過はありません。

### 【測定結果】

測定結果は、次のとおりです。

採取地点名	土壌中の放射性物質濃度 (Bq/kg)			
	ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137	セシウム合算量
大谷地内 (農林公園)	不検出	不検出	不検出	不検出
殿山町地内 (殿山南公園)	不検出	12	68	80
小松原町地内 (小松原公園)	不検出	不検出	27	27
若松町地内 (五領沼公園)	不検出	不検出	99	99
新郷地内 (新郷子供広場)	不検出	不検出	43	43
元宿地内 (稻荷林公園)	不検出	不検出	40	40

(注) 不検出とは、検出限界値（測定において検出できる最小値）以下であることを示し、今回の調査では、放射性ヨウ素は 20 (Bq/kg)、放射性セシウム 134 及び 137 は 10 (Bq/kg) を検出下限値としています。

(注) 土壌の放射性物質濃度は乾重量あたりに換算したものである。

### 【参考資料】

埼玉県が実施した「土壌・底質中の放射性物質測定結果」

(<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0501/dojyo-mp-sokuteikekka.html>)